

はちろうがた 2012年9月定例会 第113号

議会だより

発行：八郎潟町議会

編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80

☎ 018-875-5810



酷暑の水質悪化をのりきった
高度浄水設備



アオコをさえぎるフェンス
(河口より約900m)

左から・オゾン接触槽 ・オゾン滞留槽
・活性炭吸着塔NO 1. 2. 3

- ◆ 2～3ページ …………… 決算
- ◆ 4～8ページ …………… 一般質問
- ◆ 9ページ …………… 各常任委員会の審議
- ◆ 10～12ページ …………… 審査報告
- ◆ 13ページ … 提出議案／臨時議会／9月定例会
- ◆ 14ページ … 請願・陳情／議会のうごき／研修会

地方債残高 基金残高(一般会計 特別会計)

33億6,538万4千円 16億1,155万5千円

平成23年度

決算を認定

一般会計

歳入総額 …… 34億5,396万0千円
 歳出総額 …… 32億3,266万5千円
 差引額 …… 2億2,129万5千円
 繰越明許費 …… 163万6千円
 実質収支 …… 2億1,965万9千円

財政健全化法に基づく本町の財政指標は、ほぼ良好な状況に改善された。特に、悪化の状況を明確に示すとされる、実質公債費比率や将来負担比率については大幅に改善されるに至っている。

(単位：千円)

| 〈歳入〉 | 決算額 | 構成比 (%) | 前年度決算額 | 前年度伸率 (%) |
|----------|-----------|---------|-----------|-----------|
| 町 税 | 501,184 | 14.5 | 504,547 | △ 0.7 |
| 地方消費税交付金 | 54,985 | 1.6 | 56,448 | △ 2.6 |
| 地方交付税 | 1,604,625 | 46.5 | 1,597,441 | 0.4 |
| 使用料及び手数料 | 53,803 | 1.6 | 55,689 | △ 3.4 |
| 国庫・県支出金 | 469,083 | 13.7 | 465,987 | 0.7 |
| 繰入金 | 14,499 | 0.4 | 11,769 | 23.2 |
| 繰越金 | 206,700 | 6.0 | 189,453 | 9.1 |
| 諸収入 | 53,619 | 1.6 | 50,594 | 6.0 |
| 町債 | 429,452 | 12.4 | 503,522 | △ 14.7 |
| その他 | 66,010 | 1.8 | 79,331 | △ 16.8 |
| 歳入合計 | 3,453,960 | 100.0 | 3,514,781 | △ 1.7 |

(単位：千円)

| 〈歳出〉 | 決算額 | 構成比 (%) | 前年度決算額 | 前年度伸率 (%) |
|--------|-----------|---------|-----------|-----------|
| 議会費 | 73,017 | 2.2 | 53,398 | 36.7 |
| 総務費 | 716,844 | 22.2 | 816,091 | △ 12.2 |
| 民生費 | 613,156 | 19.0 | 596,815 | 2.7 |
| 衛生費 | 358,888 | 11.1 | 331,460 | 8.3 |
| 労働費 | 9,369 | 0.3 | 9,512 | △ 1.5 |
| 農林水産業費 | 114,557 | 3.5 | 105,525 | 8.6 |
| 商工費 | 26,908 | 0.8 | 26,873 | 0.1 |
| 土木費 | 314,428 | 9.7 | 311,199 | 1.0 |
| 消防費 | 150,835 | 4.7 | 170,228 | △ 11.4 |
| 教育費 | 224,971 | 7.0 | 232,182 | △ 3.1 |
| 公債費 | 629,693 | 19.5 | 654,799 | △ 3.8 |
| 歳出合計 | 3,232,666 | 100.0 | 3,308,082 | △ 2.3 |

款別決算額

平成23年度主要事業

(単位：千円)

- 町誕生55周年記念事業 …… 5,411
- 幼小特別支援生活サポート事業 …… 6,622
- 幼稚園預かり保育事業 …… 1,423
- 結婚祝い金事業 …… 1,500
- 地域福祉協力員設置人材育成事業 …… 6,066
- 高齢者体力向上活動対策員育成事業 …… 3,453
- 子ども手当支給事業 …… 86,278
- 保健センター改修工事 …… 11,301

- 子宮頸がん等ワクチン接種事業 …… 7,280
- 高岳山麓浦城整備事業 …… 6,634
- 農地利用集積促進奨励金事業 …… 2,103
- 農業者戸別所得補償制度推進事業 …… 2,739
- 公共施設省エネ・グリーン化推進事業 …… 24,690
- まちづくりイベント事業 …… 500
- 社会資本整備総合交付金事業 …… 114,742
- 地域力向上事業 …… 1,648

主な財政指標

◆地方債残高

(単位：千円)

| 項目 | 22年度 | 23年度 |
|-----|-----------|-----------|
| 地方債 | 3,517,839 | 3,365,384 |

◆収支比率・健全化比率

(単位：%)

| 項目 | 22年度 | 23年度 |
|---------|------|------|
| 経常収支比率 | 78.1 | 81.9 |
| 公債費比率 | 10.1 | 9.0 |
| 実質公債費比率 | 16.1 | 14.1 |
| 将来負担比率 | 75.9 | 46.3 |

◆地方交付税収納状況

(単位：千円)

| 年度 | 普通交付税 | 特別交付税 | 合計 | 指数 (%) |
|----|-----------|---------|-----------|--------|
| 18 | 1,129,060 | 149,147 | 1,278,207 | 100.0 |
| 19 | 1,106,008 | 181,392 | 1,287,400 | 100.7 |
| 20 | 1,161,544 | 189,744 | 1,351,288 | 105.7 |
| 21 | 1,181,297 | 193,507 | 1,374,804 | 107.6 |
| 22 | 1,381,712 | 215,729 | 1,597,441 | 125.0 |
| 23 | 1,604,625 | 7,889 | 1,612,514 | 126.1 |

◆基金(一般会計、特別会計)

(単位：千円)

| 区分 | 23年度末 | 区分 | 23年度末 |
|-------------|-----------|-----------------|-----------|
| 地域振興施設整備基金 | 50,001 | 国保財政調整基金 | 20,001 |
| 財政調整基金 | 1,298,855 | ふるさと保全対策基金 | 5,000 |
| 奨学基金 | 17,944 | 八郎潟町がんばれふるさと基金 | 2,104 |
| 減債基金 | 129,027 | 介護従事者処遇改善臨時特例基金 | 0 |
| 地域福祉基金 | 60,000 | 介護給付費準備基金 | 25,006 |
| まちづくり人材育成基金 | 3,617 | 合計 | 1,611,555 |

一 般 質 問

今すぐ3つの商店街区合併の仲介を



畠山 金美 議員

質問要旨

町長は2期目の公約に産業の振興をあげた。今商店街に蔓延しているマイナスイメージを払拭するような強いイマジネーションをもって強く語ってもらいたい。産業振興には勉強が必要である。商工会と相談して、専門家を招き、継続学習を今すぐ行うべきで、もっと踏み込んで何かをしないと手遅れになると感じる。

問 今まで街区合併さえできていればこんな策があるのに…と考えたことはあるか。

町長 特にない。町に対しての意見要望を話し合うことでは一本化してもらうため合併していくのは良いことだと考えている。

各街区の活動の経緯もある。今すぐ合併ではなく、各街区の代表者で組織する会を設立するのもいいのでは。



活性化策を模索する商店街

問 町が仲介するというよりも、各街区での話し合いで進めた方がよいと思っっている。町主導だと自主性がなくなる。

問 イベントが先なのか勉強が先なのかと問われれば。

町長 今行っているイベントは町が主導して行っている。商工会も意見を出し合って検討している。講師を町で招くのか、商工会で招くのか。

私は商工会主導のほうがいいだろうと思う。町主導であれば商工会はついてこれないのではないかと。

問 今まで商店街の悩

質問要旨

1期目の公

盆踊りをもっと高みに押し上げるには

総務課長 地元でどの程度利用されたかの把握はしていない。

問 町長の考える近い将来の商店街のイメージは。

町長 それぞれの動きの集積から出てくるものと思う。健在する商店がより有力になることで周辺に好ましい影響を与えるようになってくれたらと思う。

みはどう聞いてきたか。

町長 商店主は一国一城の主である。あれやこれやと指図されたくない強い誇りを持っている。後継者を決めかねている方々も多いと思う。

問 地域活性化助成金の縛りがゆるんだが、地元商店街への消費動向に変化はあったか。

問 観光協会ともしっかり打ち合わせの場をつくらないのはなぜか。

質問要旨

私は、町民

約である財政健全化を木でたとえるならば幹であると云われた。では、根っこは何なのか？私は信頼関係でつながっている町民の心意気だと信じている。

コミュニティがしっかりとっている町が、これからの福祉に強いまちであることは明白である。そのため自助、共助、近助という根っこを強くしてくれるのが盆踊りのいいところであり、そのレベルをもっと上げることが、将来のまちづくりのソフト面での先行投資にもあたると考えられる。



今年の仮装風景から (夜叉袋びじょん)

何ですか？と尋ねられた時、「町民が楽しみながら工夫した仮装がとてもしきれいで、見てもおもしろく、誰でも参加できる盆踊りで、遠くから来てくれた人も喜んで踊ってくれる」と笑顔で答えられる。そんな言葉が自然に出てくる光景を夢みている。

問 今後盆踊りをどうしたいのか？明確な目標は。

町長 町内からの参加を増やしていく等、何年もかかって議論してきた。人口減少の中、全町内会から参加をお願いするなどしていく。

一般質問

町の経済総生産額の現状を どのように解釈するか



近藤美喜雄
議員

人口減少と少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少が更なる経済活動の縮小や収入減を招く

「秋田1000の指標」で今後最も懸念されるのが、生産年齢人口（15～64歳）の減少（60%を切った）である。高齢化が最も進んでいる秋田県において、最大の将来不安要素となっている。新聞は「本県、縮む経済基盤」と報じていた。本町の状況と、本町における少子化対策の狙いとその成果、評価は。若者の引止め策は。



町誘致工場（日本機械工業）



町誘致工場（YDK）

働く職場が無いあるいは事業所の減少は更なる人口の減少を招く将来町はどんな姿に

「市町村民経済計算推計」によれば、本町の1人当り総生産は218

が、今後も続けていく。若年人口の流出防止のため、地元企業の活性化とネバリ強く企業誘致に努め雇用の確保に努める。

万5千円と県内最下位クラス、原因はなにか。雇用、少子高齢化、生産年齢人口の減少がこのまま進行すれば町の将来はどうなるか予想されるか。生産性が低いと言うことが問題をはらんでいるのではないか。

「町長」 生産額が少ないのは、主に会社が少ないこと、農業収入が低いことがあげられる。雇用の場がなければ、若者の減少が進行する。これを阻

構造的な部分で町が対策を講ずべきことではないか、町長2期目の感覚に期待する

止するため地元企業の活用化、企業誘致などで雇用の場の確保につとめた

「町長」 誰れもが住んでみたい町にするためになをなすべきか、専門家のアドバイスを頂きながら、現状を厳しく分析し、根本的対策としてなが必要か、町の総力を挙げた検討が必要と考えられるがどうか。

日本海国土軸の実現に向けた運動に尽力を

「町長」 最も大事な町民の幸福度を高めるため、町がどの部分に力を注ぐべきか検討課題。基本構想になくても必要なものは、積極的に取りあげていく。

「町長」 東日本大震災をうけ、日本海側への代替国土軸構想で日本海側のインフラ整備を進め、人と経済の流れを活発にすることは、秋田県など東北日本海側地域において大変重要。しかし、東北日本海側自治体あるいは、県内自治体においてこの運動があまり見られないように感じられるが町長の認識はどうか。南秋あるいは全県一体的運動展開のため、町長のリーダーシップに期待する。

「町長」 必要性は十分理解している。今後とも、県、他市町村と足並みをそろえ実現に向け要望していく。

一 般 質 問

八郎湖の水質改善対策は



北嶋 賢子
議員

問 今年の八郎湖の汚染は、かつて無い程に酷く、県・産・学・近隣町村の連携で水質改善のための緊急会議の呼びかけを。かつて国から県を動かしてもらおうと環境省に働きかけた経過があった。結果は県の方が先だろうとあしらわれた。もっと早く県の体制が出来ていれば。遅かりしを悔やまれる。

町長 平成19年度に指定湖沼認可。保全期間は、平成24年度までを1期、以降第2期に向け水質保全対策検討専門部会が立ち上げられ審議されている。保全計画のビジョンは、20年後を目途に計画は途についたばかり。町



ブナを植える会の植栽風景

としては、現状の取り組みを維持していきたい。

問 発足20周年となる馬場目川上流部にブナを植える会。これまでの植栽で1万5千本以上の若木の森が広がっている。11月3日、雨が降っても雪が積っても植栽をして来た。漁協等、八郎湖の恩恵を受けて来た町とし

て会の活動に積極的な参加と援助を。

町長 馬場目川は、本町水道水の取水源であり、会員の皆様の長年の活動に対し心から感謝を申し上げる。当日は20年前の植栽地の見学等も計画され、町広報10月号に掲載し、町民多数の参加を呼びかける。

平和教育で生命の尊厳を

問 どうして広島・長崎に原爆が投下されたの。どうして若い生命が神風特攻隊として、空の彼方へ消えたの。何も言えなかった治安維持法下から、戦争放棄の憲法9条へ。生命の尊厳を知る事は。心の痛みを知り、思いやりが生まれ、いじめの解消にもつながると思うが。

教育長 教育現場で最優先される事は、こどもの生命を守ること。健やかな成長を願い、知育、徳育、体育を身につける事。

戦争の怖さ、恐ろしさを知らない子どもたちに、平和に対するもの考え方を語り、論じて行かなければと思う。法の遵守も含め、他人と共生出来る態度の育成や、思いやりの心を持つ等の心

を耕し、いじめの解消にもつなげる。

浦大町の下町通り道路拡幅工事のスケジュールは

問 バス通りなので集落の中でも最初に取り組んで欲しかった部分がようやく動き出した。生垣が取り払われ、ブロック塀もなくなり、電柱、電話柱も移設されたものの、なかなか工事が始まらない。今後の工程は。

町長 全幅6mの道路拡幅工事を計画している。今後については、国の交付金の配分に対応しながら進めたいと考えている。浦大町中には説明している。必要に応じて町内会の総会等で事業説明をする。

一 般 質 問

町長 2 期目の町政運営・重要課題



菊地 文人
議員

問 湖東総合病院医師確保について、現状と今後の見通しと町として医師を呼び込むための施策は。

町長 来春からは6名の医師に。平成26年オープン時に必要な11名体制の保証はなしで医師確保が課題。湖東地区が連携して地域に縁のある方の情報収集に努める。

問 産業振興などの道半ばの課題はまだ多い、この事だが今後の抱負と具体的な構想を。

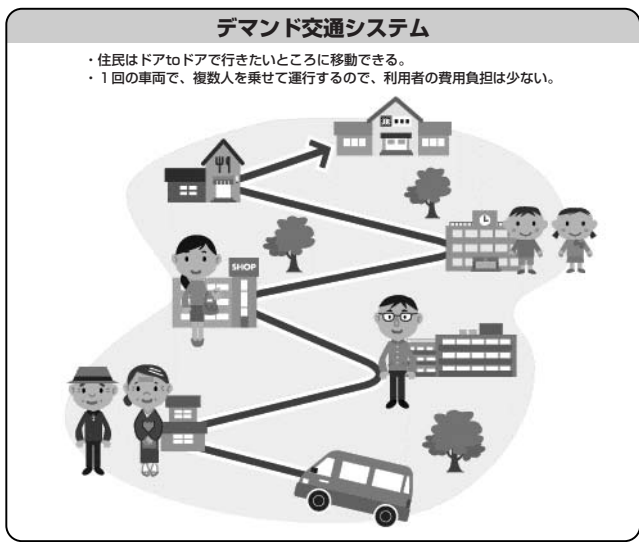
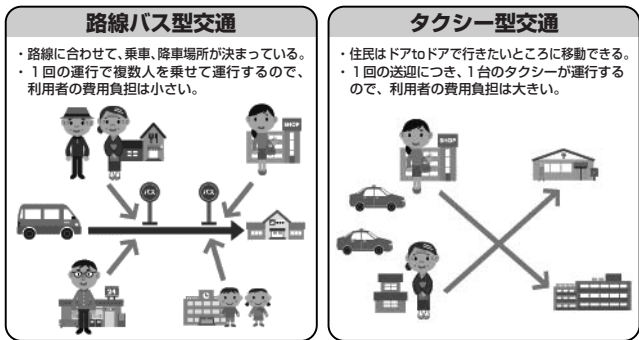
町長 商工業業者と会合を持ち、必要に応じた支援を行う。

問 人口減少化対策についての施策は。

町長 産業振興と安心安全なまちづくりが重要であるが、コンパクトで交通の利便性が良いなど本町の暮らしやすさをアピールし、町への移住を促す。

* 産業振興については他に「町独自の商品券発

〈デマンド交通 イメージ図〉



買い物弱者問題と公共交通整備

行「住宅リフォーム」「通年農業」「良質の水」の例を挙げて議論。

問 平成23年3月にも質問したが、県内では宅配や出前商店街、買い物送迎車の運行など多様な取り組みが進められている。本町における高齢者からの意見集約としての状況判断後の対策とは。

町長 デマンド交通にて町全体を網羅し買い物弱者の足を確保する。

問 来年度には高齢者のための公共交通を整備するための乗り合いタクシー・デマンドバスの考えがあるが、私も平成22年3月にデマンドタクシーを取り上げた経緯がある。今現在町長の基本的構想を。

町長 地域公共交通会議に計画案を示し、来春運行に向けて作業を進める。形態は、デマンド型乗り合いタクシーで検討。

在宅医療連携拠点事業

問 在宅医療を推進するには、医療と介護のサービスが継続的に提供されるのが重要であり、在宅医療を提供する病院、薬局、訪問看護ステーション、地域包括支援センターなど医療・福祉機関やそこに従事する多職種との連携が不可欠。この事業に対しての連携また、係る経費と今後の予定を。

町長 広域的に医療・介護の連携体制の構築を

町消防団と周辺消防団との連携・協定

目指すこの事業には協力していく。当面は検討会などへの参加が主な活動で経費はなし。

問 消防署広域合併が頓挫している状態で、隣町通しでの火災があつた時には様々な問題がある。これを解消するためにも応援協定を行うべきでは。

町長 昭和33年4月に五城目・八郎潟・井川・飯田川・昭和と協定を結んでいるが、昔のものなので今後内容も含めて検討していく。



小型ポンプ操法競技会の様子

一般質問

畠山町長 2期目の行政運営について



伊藤 秋雄 議員

問 2期目は重要課題から着手していくとあったが、4年間町政運営に当たりどんな事業から着手するのか。商店街の活性化、産業の振興について具体的に。

町長 26年度にリニューアルオープンする湖東総合病院の医師の確保、高齢者などの交通弱者対策、商店街の活性化、産業振興など。関係者と協議、検討し取り組みを行っている。

問 「未来づくり協働プログラム」本町で構想案は。2012年度から5年間、どんな事業を考えているのか。

町長 副町長を委員長とした職員9名でプロジェクトチームを結成。職員から提案されたプロジェクト素案について検討している。提案されているプロジェクトは9案ある。これらの事業は県と

問 町が共同で取り組むのが基本なので町の負担も生ずることから対象事業の絞り込みを考えている。

問 本町のプロジェクト素案、提案後のスケジュールは。

町長 事業に関係する団体との協議、秋田地域振興局と協議をし11月頃素案をとりまとめ、議会の了承を得て素案をあきた未来づくり本部に提出。その後市町村と県の関係課でプロジェクトチームが設置される。その後、市町村のプレゼンテーション後、本部会議で正式に採択される。事業実施は6月以降を目標としている。

川崎地区内歩道の改良工事及び馬場目川河川堤防舗装工事



馬場目川の堤防 (上川崎)



町道及び自歩道 (川崎地区内)

問 空き地を利用し、自転車専用・歩行者専用道路の区分け工事。旧秋田・八郎潟線国道7号線から川崎地区内の秋田自動車道の高架橋まで。

町長 社会資本整備総合交付金事業で歩行者・自転車道の整備・立案を

計画しており、路線の調査認定など整備のための環境は整えている。近年、旧秋田八郎潟線の劣化は著しく車道の舗装修繕を優先させるため当面は自転車・歩行者専用道路整備工事に着手できない状況である。

教育現場について

問 馬場目川河川堤防の利活用のための舗装工事できないか。

町長 秋田県河川課管理者の管理道路であり、管理上支障ないので舗装整備しないと回答があった。

問 本町いじめの把握、調査結果は。文部科学省では8月1日小中学校にいじめの件数を緊急調査。本町ではいじめの把握は。

教育長 文科省の調査については23年度小学校0、中学校2件、中学校のほうでは解決している。学校生活に関するアンケートを小学校は年3回、中学校は5回実施している。

問 いじめの対応対策のマニュアルは。いじめがあった場合どんな方法

事。県立五城目高校の生徒達が安全安心な道路として登下校できるように、秋田自動車道の高架橋から(馬場目川堤防)西野橋まで約850m多目的道路とし利用できる堤防を県にお願いし舗装工事できないか。

で対応し対策を考え解決するか。

教育長 本教育委員会ではマニュアルは作成していないが、いじめが確認された場合、中学校にはいじめ対策委員会、小学校にはぬくもり委員会が校長をキャップとして組織されている。一人だけの対応にならないように、事故発生時の緊急連絡体制に準じて校長の指示のもと複数の教員が役割分担し対応する。

問 虐待を受けたと思われる児童を発見した場合の対応のマニュアルは？

教育長 虐待を受けている子供を早期に見出し適切な対応をとるために、関係機関がネットワークを構築して情報の共有化と連携を図り、一体となって援助することが重要。

問 4月に実施した2012年度本町の学習状況調査は。

教育長 生徒個人の項目ごとの各教科の正答率を数値化して出すためには大変な時間がかかる。また、数値化したものを公表はできない。

町道及び自歩道の舗装工事の利活用について

馬場目川河川堤防の利活用について

川崎地区内歩道の改良工事について

教育現場について

各常任委員会の審議

総務教育 常任委員会

◆補正予算

問 国民文化祭の実行委員は、また何を実施する予定か。

答 町芸術文化協会・商工会・観光協会など各種団体長、小中学校長・一日市郷土芸術研究会・町当局など23名で、15名分の報酬と費用弁償の補正である。メインとして、人踊りを予定していて、委員会では実施計画の策定をする。

◆平成23年度決算

問 システム関連費用について、現在進行している共同化（自治体クラウド）になれば経費削減となるのか。また、個人情報保護はどのように。

答 平成23年度決算では、費用として約8千800万円の支出。現在稼動しているほとんどのシステムを共同化する予定で大幅に削減されると考えられるが、システム選定中で金額についてはまだわからない。個人情報関連は万全の対策を講じよう要求している。

問 不納欠損額について、昨年の約600万円から915万円と増額だが何が原因か。

答 特定の方が事業廃止後に追加課税された町県民税分の不納欠損である。

問 改善センターの太陽光発電について、平成23年度の収入は何ヶ月分か



現地視察（八郎瀉中グラウンドの芝生状況）

と現在の発電量は。また、今年度の収入見込みは。

答 収入は3ヶ月で、購入単価は1kw当たり現在40円。8月の発電量が2千249kwで余剰分が427kw。収入見込みは、14万円から16万円程度。

民生産業 常任委員会

問 使用されていない防火水槽があるが、陥没等の危険性はないか。

答 陥没等の危険性はないが、現在、道路敷として可能か建設課と協議している。

問 障害福祉費に人工透析通院助成金が計上されているが、病院から送迎されている人、自分で運転して通院している人は該当になるのか。

答 病院からの送迎には該当とならない。自分で運転して通院している方については町内及び隣接町村の医療機関以外に通院している場合に該当に

なる。

問 公共下水道受益者負担金の強制執行を含めた滞納対策については。

答 督促状などで対応している。他の税金や水道使用料も滞納している人がほとんどなので、強制執行に到っても納入は厳しい。

◆総括質疑

①排雪作業時のダンプ借り上げ単価の引き下げ

②家族介護慰労金の支給額の引き上げ

③介護予防教室への食育の導入

④欠員となっているケアマネージャーの確保を含め、事務局体制強化策の実施

⑤昨年確認された、浄水場オゾン接触槽の孔食問題については、将来的に禍根を残さぬ対応の徹底



現地視察（ファーム夢未来 水耕栽培状況）

平成23年度決算

審査報告

総務教育



近藤総務教育
常任委員長

◆議案第53号

平成23年度八郎潟町一般会計 歳入歳出決算認定について

当委員会の決算審査は、9月12日から18日まで、関係各課職員からの説明をもとに、適正かつ経済的な予算執行がなされているか、そしてまた、効率的な行政運営がなされているかに重点をおき審査いたしました。その経過と結果についてご報告いたします。

その主なものは、
(1)地域活性化事業（町内会）
(2)町誕生55周年記念事業（記念式典・浅利香津

2. 決算審査の内容について

歳入の主なものは、町税については総額5億118万4千円で、前年度に比べ0.7%の減となっております。地方交付税については、16億462万5千円で前年度に比べ0.4%の増となっております。

歳入の主なものは、人件費として総額4億7千529万2千円となっており前年度に比べ3.6%の増となっております。公債費は、借換債を除いて3億4千969万3千円となっており、前年度に比べ6.7%の減となっております。

また、教育費では、総額2億2千497万1千円となっており、前年度に比べ3.1%の減となっております。

3. 健全財政の維持について

平成23年度決算で
①経常収支比率 81.9%
（前年比+3.4%）
75.0%が望ましい
数値
②実質収支比率 10.4%
（前年比+1.6%）

3.0%~5.0%が望ましい数値

③公債費比率 9.0%
（前年比▲1.1%）
10.0%が望ましい
数値

④実質公債費比率 14.1%
（前年比▲2.0%）
25.0%が起債制限
値

となっており、経常収支・実質収支比率においては、臨時財政対策債等の減額により若干増となつてはいるものの、公債費比率、実質公債費比率においては、良好な数値となっており、健全な財政運営の結果だと思われ

また、積立金についても、平成23年度において財政調整基金2億6千19万4千円、減債基金4千102万7千円など4億669万9千円を積み立てており、基金残高については、特別会計含めて平成23年度末で総額16億1千155万5千円となっております。

町では、財政の中期計画を立て財政健全化に向けて努力しておりますが、「八郎潟町総合振興第5次基本構想」に基づく重要施策や継続事業の完成、平成26年にリニ

アルオープンする湖東総合病院改築事業、また、役場庁舎耐震診断の結果に基づく対応等を含む各種事業の財政需要の増大に対処するために、長期を見通した歳入歳出の年次計画を綿密に策定し、今後の町づくりに取り組んでもらいたい。

4. 審査した経過での 主な意見

○総務課関係では

歳入の県特例事務交付金の権限移譲事務について、「各移譲事務交付金の単価は一律か。また、権限移譲事務に何故手を挙げないのか。」との質問があり、「移譲事務ごとに単価が異なる。本町では、4月1日現在、移譲事務77事務のうち30事務の受け入れで移譲率が39パーセントと低くなつてはいる。低い理由としては、自立計画に基づき職員数を大幅に削減しており、専門性のある移譲事務を取り扱う余裕がないということ、また、取り扱う件数が年間1件程度の事務を移譲されても、職員の知識向上や、住民サービスの向上につながる」と考え、受け入れをしていないが、平成22年度から県職員が市町村

ことに専属でサポートする制度が出来たので、今後受け入れが可能かどうか検討したい。」との回答がありました。

○税務課関係では
不納欠損額について「昨年の598万5千円から915万1千円となつており、特に町県民税が大幅に増えているのは何故原因か。」との質問があり、「特定の方が、事業廃止後に追徴課税された町県民税分の不納欠損が原因である。町県民税まで納付が及ばず不納欠損処理された。」との回答がありました。

○教育課関係では
幼稚園保育料について「昨年度と比較して増えているが、その要因はなにか。預かり保育によるものか。また、預かり保育がなかった時は、保育園に比べて幼稚園の方が人数が少なかったと思われるが、現在の幼稚園児の人数は増えてきているか。」との質問があり、「保育料の増については、預かり保育利用者が増えたものであり、預かり保育が定着してきていると考えている。幼稚園児数は増えていないが、その要因は、保育園は幼稚園より保育時間が長いのが関係していると思われる。なお、小学校に就学する時の人数は、

平成23年度に実施された施策及び事業について

- (3) 幼小特別支援生活サポート事業（緊急雇用創出事業交付金）
- (4) 幼稚園預かり保育事業（少子化対策包括交付金）
- (5) 中羽立公園管理棟改修事業
- (6) 公共施設 省エネ・グリーン化推進事業

（農村環境改善センター省エネ改修事業として太陽光発電装置一式・窓のペアガラスを実施）
などのほか、各種事業が実施されております。

幼稚園と保育園で半々である。」と答弁がありました。

○現地視察について
平成24年9月18日（火）午前10時

・弁天球場（客席フェンス、スコアボードの改修状況）

・中羽立公園管理棟（改修状況）

・中羽立公園グラウンドゴルフ場（芝の状況）

・八郎潟中学校（グラウンドの芝の状況）
（視察後の意見）

・管理棟、オリンピック

記念会館、小学校の屋根の腐食、錆がひどくなってきた。早期の対策を行うことで、費用も節減できるの

で、早めの対策を要望する。

・管理棟の内部は改修により良くなったが、入口の階段がきつく感じられるため、高齢者も登りやすいようにスロ

ープなどを設置する必要があるので、入口付近のタイルの破損、劣化が激しいので修繕を検討してほしい。

○町民課関係では
「粗大ゴミの搬入台数が減少しているが、原因はなにか。」との質問があり、「国道7号線に家電等を無料回収する古物商ができたことが影響していると思われる。」との答弁がありました。

民生産業



村井民生産業
常任委員長

◆議案第53号

一般会計決算認定について

○福祉課関係では

「保育料負担金について、以前第三子の保育料は無料であったが、現在も無料か。」との質問があり、「第一子、第二子とも保育園もしくは幼稚園に在園している場合のみ第三子が無料となる。」との答弁がありました。

○産業課関係では

「えだだめ日本一産地整備条件整備事業の補助を受けている農家がどれ

位の所得の向上及び成果があったか、町として調査をしているのか。」との質問があり、「個々の農家の所得までは把握していないが、平成23年度で枝豆を作付出荷した農家は、法人を入れて13農家、面積が10・7ha、販売額で1千920万円、10a当たりで17万9千500円となっており、22年度と比較しても伸びている。この事業を活用しているファーム夢未来でも、機械・施設を整備しながら今後の所得向上、規模拡大につなげていく段階ではあるが、売上額では前年より伸びており、それなりの所得向上に結びついていると思う。」との答弁がありました。

また、環境保全型農業支払交付金事業の該当者が1人よりいなくなったの当局からの説明に対し、委員から「環境保全型農業については、町でもっと力を入れて取り組んでほしい。」との意見がありました。

また、「いこいの森散策道の改修工事は、全てNPO法人の浦城のほうに委託しているのか、また、高岳山の上から土砂崩れした経緯があったが、そこはまた整備して

いないのか。」との質問があり、「21年度から3ヶ年計画でむらくもの滝周辺の保護柵とむらくもの滝から高岳山頂上に向かう散策道の整備を、NPOではなく業者に発注して工事を行っており、土砂崩れがあった場所の修復を含めて整備している。」との答弁がありました。

◆議案第54号

国保特別会計決算認定について

「保健事業費に計上されている小児成人病予防委託料について、この予防検診は毎年実施しているのか。」との質問があり、「毎年実施している。以前は早朝の空腹時の採血であったが、現在は授業時間内の随時の採血となっているため、学校保健として捉えるか、あるいは子どもへの採血の負担などから廃止するか検討中です。」との答弁がありました。

◆議案第55号

後期高齢者医療特別会計決算認定について

「徴収方法は、年金から天引きする特別徴収と、納付書で納める普通徴収となっているが、特別徴収から普通徴収に変更となることもあるのか。」との質問に、「基本的に変更はないが、所得の変動等により保険料が下がった場合などに、普通徴収に切り替わることもある。この場合、次年度途中から特別徴収に戻りますが、普通徴収になったことに気づかず滞納してしまうケースもある。」との答弁がありました。

◆議案第56号

公共下水道事業特別会計決算認定について

「受益者負担金の収入未済額がかなり大きな金額になっているが、最終的にどうするつもりか、今後、額が大きくなっていくのではないか。」との質問があり、「受益者負担金は平成25年度で賦

課が終わるので25年度を最後に新たな未収金は発生しない。また、年に一度未納者に対して残債通知を送り、戸別徴収も行っている。」との答弁がありました。

慎重審議の結果、全員一致をもちまして原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

◆議案第57号

農業集落排水事業特別会計決算認定について

委員から公共下水道施設への接続について質問があり、「施設の老朽化に伴う、接続でなく八郎湖の水質基準が厳しくなり、来年の4月から今の処理施設が使用できなくなる。」との答弁がありました。

また、「その後の施設の利用について、方向は決まったのか。」との質問があり、「まだ、決定はしていないが浦大町処理場は浦城の歴史の展示室、小池処理場は経過年数により、残存価格が小さくなったため、補助金を返還し、新たな使い道を模索している。」との答弁がありました。慎重審議の結果、全員一致をもちまして原案ど

おり認定すべきものと決定しました。

◆議案第58号

介護保険特別会計決算認定について

「地域支援事業費の任意事業費に、家族介護慰労金が計上されているが、施設利用者等にかかる費用に比べると、家族の負担が大きいのに1件10万円という金額は低くないか。また、この慰労金を受けることの出来る介護度は。」との質問があり、「実施している市町村を参考に創設したが、支給していない市町村もある。支給対象は介護度4と5の方です。」との答弁がありました。

また、「耐震診断の結果はいつ頃か。」との質問があり、「耐震診断の結果は2月頃の予定です。」との答弁がありました。慎重審議の結果、全員一致をもちまして原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

◆議案第59号

上水道事業特別会計決算認定について

「給水収益は予算と決算と比べてどの位、落ちているのか。」との質問

があり、「去年の収入と今年の収入ではほとんど変わらない。」との答弁がありました。

また、「薬品費が100万円減になっているがそれはオゾン処理による効果か。」との質問があり、「オゾン処理により薬品注入量が落ちていく。その分電気料金が上がっている。」との答弁がありました。

また、「減価償却の引当を行っているのか。」との質問があり、「直接現金が出ていく訳ではないが、歳出項目に載せなければならぬ。資本的支出の不足分に充当させている。」との答弁がありました。

また、「耐震診断の結果はいつ頃か。」との質問があり、「耐震診断の結果は2月頃の予定です。」との答弁がありました。慎重審議の結果、全員一致をもちまして原案どおり認定すべきものと決定いたしました。

○現地視察について

「中央児童館のトイレ洋式化及び玄関前植栽、植樹の施工状況」と「農事組合法人ファーム夢未来が取り組んでいる水耕栽培ハウス」、「浄水場のフロキュレーター更新施工状況等」を視察しました。

* 広域組合議会報告

湖東地区行政一部

事務組合
議定会例会

7月25日に第2回定例会を開催し、次の議案を全会一致で可決しました。

平成23年度一般会計

歳入歳出決算の認定

歳入合計 5億2千418万4千円

内訳

構成市町の負担金 4億9千687万0千円
(八郎潟町の負担金 1億3千312万5千円)

使用料及び手数料

繰越金 664万3千円
諸収入 393万1千円
組合債 168万3千円

歳出合計

5億81万5千円

内訳

議会費 70万1千円
総務費 3千205万1千円
衛生費 1千799万5千円
消防費 4億4千297万1千円
公債費 709万7千円
実質収支額 2千336万9千円

八郎湖周辺清掃

事務組合
第2回臨時会

5月31日に第2回組合議会臨時会が招集されております。

提出議案

副議長の選挙について

指名推薦により、五城目町議会議員の澤田石亀雄議員が新副議長に選任されました。引き続き、議会全員協議会が開催され、災害廃棄物受け入れ断念を承認しています。

八郎潟町・井川町
衛生処理施設組合
議定会例会

第2回定例会が7月25日八郎潟町役場3階会議室にて開催され、提出された議案が可決されました。

平成23年度一般会計

歳入歳出決算の認定

歳入合計 8千148万9千円
歳出合計 7千974万2千円
差引額 174万7千円
負担金
八郎潟町 3千525万5千円
井川町 2千996万5千円

平成24年 八郎潟町議会 9月定例会提出議案

| 議案番号 | 議案 | 結果 |
|--------|--|---------------------|
| 議案第49号 | 八郎潟町防災会議条例の一部を改正する条例案について | 全員賛成可決 |
| 議案第50号 | 八郎潟町災害対策本部条例の一部を改正する条例案について | 全員賛成可決 |
| 議案第51号 | 平成24年度八郎潟町一般会計補正予算（第4号）について | 全員賛成可決 |
| 議案第52号 | 平成24年度八郎潟町介護保険特別会計補正予算（第2号）について | 全員賛成可決 |
| 議案第53号 | 平成23年度八郎潟町一般会計歳入歳出決算認定について | 賛成多数可決 (反対1北嶋賢子) |
| 議案第54号 | 平成23年度八郎潟町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について | 全員賛成可決 |
| 議案第55号 | 平成23年度八郎潟町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について | 全員賛成可決 |
| 議案第56号 | 平成23年度八郎潟町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について | 全員賛成可決 |
| 議案第57号 | 平成23年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について | 全員賛成可決 |
| 議案第58号 | 平成23年度八郎潟町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について | 全員賛成可決 |
| 議案第59号 | 平成23年度八郎潟町上水道特別会計決算認定について | 全員賛成可決 |
| 議案第60号 | 八郎潟町長及び副町長の給与の減額に関する条例の制定について | 全員賛成可決 |
| 報告第5号 | 平成23年度八郎潟町一般会計等財政健全化審査及び平成23年度八郎潟町水道事業会計経営審査について | 全員賛成可決 |

第2回 臨時会 平成24年7月

スポーツ少年団派遣費など関連予算を追加

7月5日臨時会が開かれ、一般会計補正予算が上程され、保健センターのトイレとホールの暖房付近の漏水（建設から20年経過）に伴う調査費及びソフトテニスとソフトボール両スポーツ少年団の派遣費などが追加提出され、議案は全会一致可決されました。

○一般会計補正予算（第2号）

| | |
|-------------------------------|---------|
| 歳入 前年度繰越金 | 1,412千円 |
| 歳出 保健センター漏水調査委託料 | 210千円 |
| スポーツ少年団派遣費補助金 | 1,202千円 |
| ソフトテニス(全日本小学生ソフトテニス選手権大会、島根県) | |
| ソフトボール(全日本小学生女子ソフトボール大会、宮崎県) | |

第3回 臨時会 平成24年8月

8月9日臨時会が開かれ、第5分団が小型ポンプ操法の部で、男鹿潟上南秋を代表し全県大会へ出場するための派遣費用が予算化された。議案は全会一致可決されました。

○一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出に1,313千円を追加し、総額を2,507,939千円に。歳出の主なものには選手等の宿泊費、訓練及び当日の出務日当などが追加されました。

議会全員協議会 固定資産税の農地課税に誤り（説明）

8月9日、臨時会終了後、議会全員協議会が開かれ、24年度固定資産税の農地課税分に誤り（課税後の概要調書により県より指摘）があったことについての説明がありました。農地の評価にあたり、法に基づき知事が定める基準地価額より低い価額を適用していたことによるもので、町では今後、農地の評価額と国民健康保険税の修正賦課などの作業を行なう必要があることから、9月の中～下旬を目途に関係納税者に修正納付書を発送する予定で作業を急いでいるとの説明がありました。似たようなケースで再び業務上の事故が起きないよう、今後いかに対策できるかが問われる。

納税者への周知・説明

町民に対しては9月号広報、ホームページの活用、納税者へは直接修正納付書と「お詫びとお願い文」を送付。説明会も開催するとしている。

9月 定例会

9月11日（火）から20日（木）の10日間開かれ、条例改正3議案、補正予算2議案、決算認定7議案と報告1件が上程され、慎重審議の結果、すべて可決あるいは認定されました。条例改正は、災害対策基本法の改正によるもので、町の防災会議条例、災害対策本部条例の一部改正であります。

一般会計補正予算（第4号）

総合防災事業で町内15避難所に特設公衆電話設置 食糧備蓄 防災ラジオの購入など実施

歳入歳出にそれぞれ30,567千円を追加し、総額は2,538,506千円に

歳入の主なもの、地域支え合い体制づくり事業費補助金（県）805千円、農業夢プラン応援事業費補助金（県）1,172千円、総合防災対策緊急交付金（県）1,510千円、前年度繰越金32,109千円、臨時財政対策債発行枠決定による減額15,583千円など。歳出の主なもの、石田玲水作「わがみずうみ」の詩碑を「歴史と文化を語る会」が役場前に移設するための費用の一部補助金210千円、地域支え合い推進事業費補助金805千円、保健センター改修工事費（設計管理とも）4,450千円、1法人、1個人に対する農業夢プラン応援事業費補助金1,173千円、小型除雪ローダー購入費5,565千円、防災対策事業費3,034千円などあります。

■ 請願・陳情

| 受理番号 | 受理年月日 | 件名 | 住所 | 氏名 | 件名 | 紹介議員 | 付託委員会 | 本会議結果 |
|------|------------|----|------------|--|---|------|-------|-------|
| 8 | 平成24年7月24日 | 陳情 | 新潟県村上市 | 全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣一徳 | 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の採択について(依頼) | | 総務教育 | 採択 |
| 9 | 平成24年9月5日 | 請願 | 秋田市 潟上市 | 秋田県教職員組合 執行委員長 伊藤正通 男鹿南秋支部 支部長 渡部豊彦 | 少人数学級の推進、義務教育費国庫負担率2分の1復元に係る意見書採択についての請願書 | 北嶋賢子 | 総務教育 | 採択 |



議会のうごき

7月

- 1日 町小型ポンプ操法競技会
- 2日～3日 秋田県町村議長会理事会
- 2日～3日 湖東地区行政一部事務組合研修視察(気仙沼市・南三陸町)
- 5日 臨時議会
- 18日 例月出納検査(監査委員)
- 22日 男鹿潟上南秋支部消防操法大会
- 23日 秋田県町村議会広報研修会
秋田県町村議会議員研修会
- 25日 湖東地区行政一部事務組合議会
八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会
- 27日～8月2日 決算審査

8月

- 1日 八郎潟町教育振興大会

- 3日 南秋田郡町村議会議員大会
- 9日 臨時議会
議会全員協議会
- 15日 八郎潟町成人式
- 17日 例月出納検査(監査委員)
- 22日～23日 東北3県町村議会議長研修会
- 28日 秋田県消防操法大会
- 29日 秋田県町村監査委員研修会
- 31日 秋田県町村議長会理事会

9月

- 6日 議会運営委員会
議会広報編集委員会
- 10日 例月出納検査(監査委員)
- 11日～20日 9月定例議会
- 12日 八郎潟町敬老式・高齢者福祉大会
- 24日 議会広報編集委員会
- 26日 議会広報編集委員会



秋田県 町村議会議員研修会



南秋田郡 町村議会議員大会



編集後記

この夏はロンドンオリンピックで沸いた。「参加することに意義がある」オリンピックではあるが、国際社会で存在感を示すためにも日本選手のメダル争いにも興味があった。終わってみれば日本選手は過去最多の38個のメダルを獲得。健闘を称えたい。

さて、本町の最大の関心事は町長選挙、8月28日の届出で現職島山菊夫氏のほか届出がなく、午後5時で無投票当選が確定した。二期目の当選にあたり、公約として(新聞報道)、▽湖東総合病院の医師の確保▽商店街の活性化など産業振興▽高齢者のための公共交通の確保などをあげている。

町の活力と町民福祉向上に期待したい。
(近藤)

◆議会広報編集委員会

- 委員長 北嶋賢子
- 副委員長 菊地文人
- 委員 近藤美喜雄
- 委員 小島山金
- 委員 三戸留吉